

津久戸

令和7年4月7日

4月号 一 新宿区立津久戸小学校

津久戸小組織マネジメント

校長 本間 基史

津久戸小学校3年目となります。私はサッカーが大好きで、中学、高校とサッカー部でした。現在は地元の「町田ゼルビア」というチームを応援しています。「町田ゼルビア」の黒田監督は元青森山田高校の監督でプロサッカー選手の経験もなく、Jリーグの監督としては異色の経歴です。

Jリーグの監督となって、1年目でJ2優勝し、2年目はJ1で3位となりました。黒田監督の凄いところは、前半でうまくいっていても、後半になると必ず修正をして挽回してくるところです。

スポーツですから、ベンチワークだけで必ずしも勝利できるわけではありません。しかし、応援していて、例え敗戦となっても、あれだけ手をうったのだから仕方がないと思えるのです。黒田監督の著書「勝つ、ではなく負けない。」では～サッカーチームに限らず、どんな組織でも結果を出すためには、「組織マネジメント」の重要性が挙げられると思います。それは選手、社員、部員、メンバーにとって有効なものでなくてはなりません。組織の一人ひとりが「やり甲斐」や「生き甲斐」を持って、生き生きと活動できていることが最適です。～中略～学校組織であろうと、会社組織であろうと、プロ組織であろうと、人と人が繋がっている以上、同じ感覚になることが重要だと思っています。～と書かれています。有難いことに、津久戸小学校は保護者の皆様、地域の方々に応援していただいています。普通ですと、学校組織だけの組織マネジメントで学校経営を考えがちですが、津久戸小学校を中核としてPTA、地域とともに「子供のための」組織マネジメントを進めていきたいと思っています。「子供のためのやり甲斐」「子供が生き甲斐」となるような組織を、地域協働学校運営協議会の皆様のご協力も得ながら、地域一体となった学校教育を充実させていきたいと思っています。昨年度の本校のウイークポイント（学校評価等での改善点）は修正を図りました。

ただ教育においては勝つ、だけではなく、負けても良いと私は思っています。失敗を恐れずに、間違えても構わない、トライ&エラーで、のびのびと子供たちが成長できるよう見守る教育環境を整えていきます。本年度もよろしくお願いいたします。

